

保育士・保育所支援センターからのお知らせ

ふくしま幼児教育研修センター（令和５年４月に開所）は、県内すべての幼児教育施設の保育者を対象に研修の実施や、幼児教育の現状等の調査、県内外の保育実践についての情報収集・発信を行っています。

今回は、その一部である園内研修支援について皆さんに情報の共有をいたします。客観的な立場で保育を参観していただくことで、ヒントやきっかけが見えてくるかもしれません。

➤ 園内研修支援について

Q:園内研修支援って？

ふくしま幼児教育研修センターの担当者が、各園からの要請を受け園を訪問し、園のニーズに応じて、保育を参観したり園内研修に参加したりして指導助言を行います。幼児期の「遊びを通した学び」について、一緒に学び、様々なアドバイスをいただくことができます。

Q:料金はかかるの？

支援にかかる旅費等は不要です。

Q:申し込みの方法について

【様式１】支援Ａ 園内研修申込書 を、ふくしま幼児教育センター宛てに送付

実施要項・申込書は、福島県教育委員会 [こちら](#)です。



➤ 園内研修支援を利用した大槻保育所の様子（R6.9.12）

1日のスケジュール

9時30分～	保育参観
13時～14時	0・1・2歳児 保育のふりかえり 協議・助言指導 まず、未満児さんクラスの先生達のふりかえりの時間です。 今日の保育について、感想や反省を発表します。 次に指導主事が、子ども達の写真を見ながら、良かった点やアドバイスをくださり、全員でディスカッションしました。
14時～15時	3・4・5歳児 保育のふりかえり 協議・助言指導 以上児さんクラスの先生達のふりかえりの時間です。 子ども達の写真を見ながら、活動について探り、良かった点や今後の展開へのアドバイスをいただき、皆さんで楽しく真剣にふりかえりました。

保育参観の様子



0.1 歳児は子どもの姿「つかむ」「入れる」「投げる」に注目し、果物狩りを楽しみました。

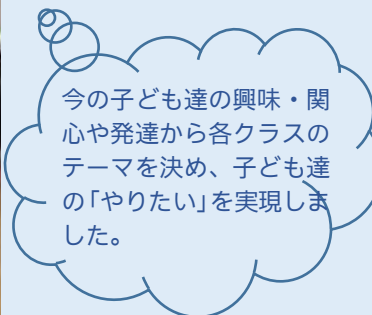


保育士の模倣やごっこあそびが活動の中心の1・2 歳児 好きな絵本からおまつりごっこに発展しました。

保育のふりかえりをしました。たくさんの気づきや学びがあり、あっという間の2時間でした。



2・3 歳児は、手触りやにおい、色のきれいさなど感覚遊びに視点を置き、大きな容器でスライムを作りました。触る、嗅ぐ、色を比べるなど様々な感覚刺激を楽しんでいました。



今の子どもの興味・関心や発達から各クラスのテーマを決め、子ども達の「やりたい」を実現しました。



4・5 歳児は、自由遊びの中で廃材を使っでの制作を楽しむ様子が見られることから、グループごとに街作りを計画しました。はさみの使い方に苦戦する様子も見られましたが、それぞれが自分のペースで楽しんでいました。

先生方の感想

子ども達の興味・関心を探り子ども達のやりたい遊びに辿り着くまでにかなりの時間を要しました。また当日は職員全員が出勤し、パート勤務の先生に協力していただいた職員体制であり、この日のために皆で準備した環境です。これを継続していくことは現実として難しいと思います。ただ時間をかけ職員全員で悩み、準備をした時間は、私達にとって有意義だったと思います。それを見ていただき、この先につながるアドバイスをいただいたことは、私達のこれからの保育に力をくれました。

今回研修支援を受けて、保育士の意識が変われば、保育士主導の良さも活かしつつ、子ども達の“選択”“満足”を満たす子ども主体の保育の実現も可能なのではないかなと思うことができました。日頃の保育の中でも、子ども達のやりたい思いに寄り添う保育・保育環境をあきらめず目指していきたいと思っています。